

## 1 モルヒネ塩酸塩水和物

### 2 純度試験(4)の項を次のように改める。

#### 3 純度試験

4 (4) 類縁物質 本品0.20 gを薄めたメタノール(4→5) 10  
5 mLに溶かし、試料溶液とする。この液1 mLを正確に量り、  
6 薄めたメタノール(4→5)を加えて正確に100 mLとし、標準  
7 溶液(1)とする。標準溶液(1) 5 mLを正確に量り、薄めたメ  
8 タノール(4→5)を加えて正確に10 mLとし、標準溶液(2)とす  
9 る。これらの液につき、薄層クロマトグラフィー (2.03) に  
10 より試験を行う。試料溶液、標準溶液(1)及び標準溶液(2) 10  
11  $\mu\text{L}$ ずつを薄層クロマトグラフィー用シリカゲル(蛍光剤入り)  
12 を用いて調製した薄層板にスポットする。次にアセトン/エ  
13 タノール(99.5)/アンモニア水(28)混液(21 : 14 : 3)を展開溶  
14 媒として約12 cm展開した後、薄層板を風乾する。これに紫  
15 外線(主波長254 nm)を照射するとき、試料溶液から得た $R_f$   
16 値約0.17のスポットは、標準溶液(1)から得たスポットより  
17 濃くない。また、試料溶液から得た主スポット、 $R_f$ 値約  
18 0.17のスポット及び原点以外のスポットは、標準溶液(2)か  
19 ら得たスポットより濃くない。

20

21